



玄関ドア 枠

施工要領書

このたびは、エクセルシャノン商品をご採用いただきましてありがとうございます。商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

●この施工要領書は必ずシーリング作業をされる業者の方へお渡しください。

注 部品箱に同梱されている取り扱い説明書は、必ずお客様へお渡しください。

組み立て・取り付け上の注意事項

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

□玄関ドア以外への転用や改造は行わないでください。

□指定の部品・ガラスおよびオプション品以外は、使用しないでください。

□ねじ止め箇所は、指定してあるねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し、傾かないよう垂直に取り付けてください。

□組み立て時には、トルク調整可能なドライバーを使用してください。

組み立てねじの適正トルクは、2.0～2.5N・m(20～25kgf・cm)程度です。

以下のドライバーは使用しないでください。組み立てねじやサッシが破損するおそれがあります。

インパクトドライバー、高トルクの電動ドライバー、トルク調整のできないエアドライバー（組み立て後、ゆるみ、ガタつきのないことを確認してください）

□ドア本体は重いもので約50kgあります。建て込みの際には、二人以上で扱うなど施工には十分ご注意ください。

□シーリングは、下記の点をお守りください（シーリング材は現地調達品です）。

- シーリングは、指定箇所すべてに対して確実に行ってください。
- シーリングする面に付着しているさび、ほこり、油分、水分などは、きれいに除去してください。
- シーリング材を十分に深部まで押し込み、表面をへらなどでなめらかに仕上げてください。

□組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、開閉作動や施解錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。

□引き渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

□玄関土間タイル施工後、タイルのクリーニング時に酸・アルカリ・塩素系の洗浄液は使用しないでください。下枠の腐食の原因になります。

□戸当りを取り付ける場合はドアを開けたときに、ドア本体戸先下部が当たる位置に取り付けてください（戸先下部以外の場合は、ドア本体が変形する場合があります）。

取り付け上のお願（取り付け上のお願を必ず取り付けされる方にお伝えください）

注 枠の取り付け

※枠を躯体に固定する際に、枠が下記寸法以下になっているかを確認して取り付けてください。

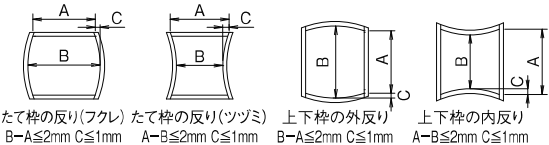
※枠取り付け前に、取り付け躯体の水平・垂直・開口寸法を確認してください。

※枠取り付けの際には、枠の水平・垂直・対角寸法を確認して、ゆがみやねじれ、上枠の張り上げのないように取り付けてください。

※枠を取り付けるときの精度は、変形0mmを目指してください。

※取り付け精度が下記寸法をはずれていると、開閉作動、施解錠、気密性能、水密性能など商品性能に支障をきたす場合があります。

枠の取り付け精度



※コンクリート納まりの場合は、アンカー-WADQZ [上枠・たて枠用]（オプション）、WD1811 [下枠用]（同梱）をご使用ください。ただし、アールドア 片開き枠には、アンカー-WADQZ [上枠・たて枠用]（オプション）はご使用できません。

梱包内容

□開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容も確認してください）。

□商品に破損や異常がないか確認してください。

□開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。

□万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または株式会社エクセルシャノンまでご連絡ください。

枠

部 材

※1 巾木付枠のみ同梱

品名	枠タイプ	片開き枠 親子枠 両開き枠	袖FIX片開き枠	両袖FIX片開き枠	アールドア (片開き枠)
上枠		1本	1本	1本	1本
下枠		1本	1本	1本	1本
※1 巾木		1本	1本	1本	1本
たて枠(左)		1本	1本	1本	1本
たて枠(右)		1本	1本	1本	1本
方立		—	1本	—	—
方立(左)		—	—	1本	—
方立(右)		—	—	1本	—
袖上框		—	1本	2本	—
袖下框		—	1本	2本	—
押縁(袖用)		—	2本	4本	—

部 品

記号	姿 図	品 名	片開き枠 親子枠 両開き枠	袖FIX 片開き枠	両袖FIX 片開き枠	記号	姿 図	品 名	アールドア (片開き枠)
ア		タッピン2種丸 4×37×8G5	4本	11本	18本	サ		タッピン2種丸 4×37×8G5	4本
イ		タッピン2種丸 4×70×8G40	6本 (※1 10本)	9本 (※1 13本)	12本 (※1 16本)	シ		タッピン2種丸 4×70×8G40	2本 (※1 6本)
ウ		木ねじ皿 3.8×50×7	9～11本	10本	11本	ス		タッピン2種丸 4×100×8G50	4本
エ		※2 木ねじ皿 3.1×20×6.2	11～15本	12～14本	13～15本	セ		木ねじ皿 3.8×50×7	14本
オ		低頭ねじ 3.1×32×7.1	13～16本	13～14本	14～16本	ソ		低頭ねじ 3.1×32×7.1	13本
カ		※1 ドリリングねじなべ 4×10×8	1本	1本	1本	タ		※1 ドリリングねじなべ 4×10×8	1本
キ		ホールプレート (丸)	6個 (※1 10個)	11個 (※1 15個)	16個 (※1 20個)	チ		ホールプレート (丸)	2個 (※1 6個)
ク		アンカー	3～5個	4個	4～5個	ツ		ホールプレート (長丸)	4個
ケ		施工要領書	1部	1部	1部	テ		スパーサー	6個
コ		ドアクローザ	1セット	1セット	1セット	ト		アンカー	3個
						ナ		施工要領書	1部
						ニ		ドアクローザ	1セット

※1 巾木付枠のみ同梱 ※2 アングル付枠のみ同梱

ドア本体	
品 名	数 量
ドア本体	1体
子ドア	
品 名	数 量
子ドア	1体
ロック	
品 名	数 量
シリンドー	2個
錠ケース	2個
サムターン	1個
防犯サムターン	1個
取り扱い説明書	1部

ハンドル	
品 名	数 量
ハンドル	1セット
空錠	1個

ドアガード	
品 名	数 量
ドアガード 本体	1個
ドアガード 受け	1個
㊷小ねじバインド4×12×8	2本
㊸小ねじ皿4×12×8	3本

丁番		
	品 名	数 量
2枚吊セットR(L)	ねじ種類	
	㊶小ねじ皿4×15×8(枠側)	8本／セット
3枚吊セットR(L)	㊷小ねじ皿4×20×8(ドア側)	8本／セット
	㊸小ねじ皿4×15×8(枠側)	12本／セット
	㊹小ねじ皿4×20×8(ドア側)	12本／セット

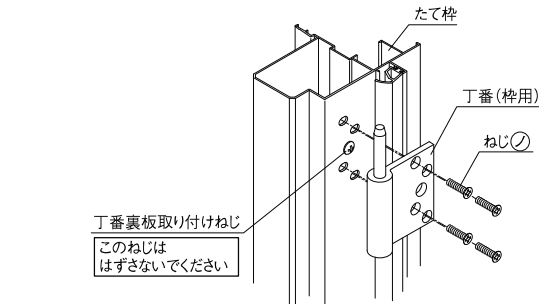
施工手順

1 枠の組み立て

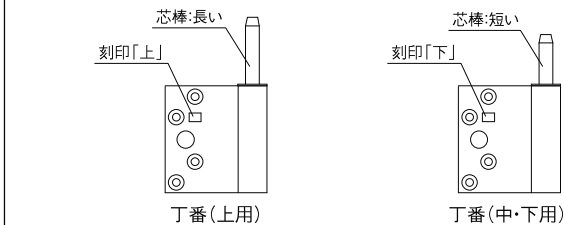
■丁番の取り付け

●枠用丁番を上用、中・下用に注意して、たて枠または方立吊元側に取り付けてください。

注 丁番裏板取り付けねじは完全に取りはずさないでください。
丁番裏板が脱落し、丁番が取り付けられなくなります。



上用丁番(刻印:上)と中・下用丁番(刻印:下)とは芯棒の長さが異なります。

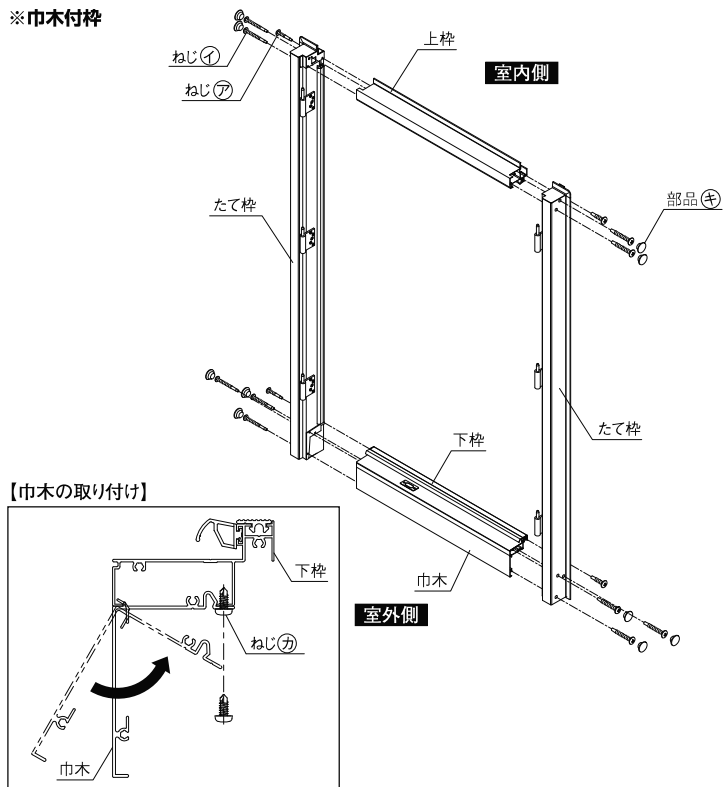


- 枠の組み立て
● 図のように枠を組み立ててください。

注 組み立て時に、たて枠キャップは取りはずさないでください。たて枠キャップ裏にあるマットシーラーが正常に圧縮されないまま組み立てられますと、漏水の原因となります。ご注意ください。

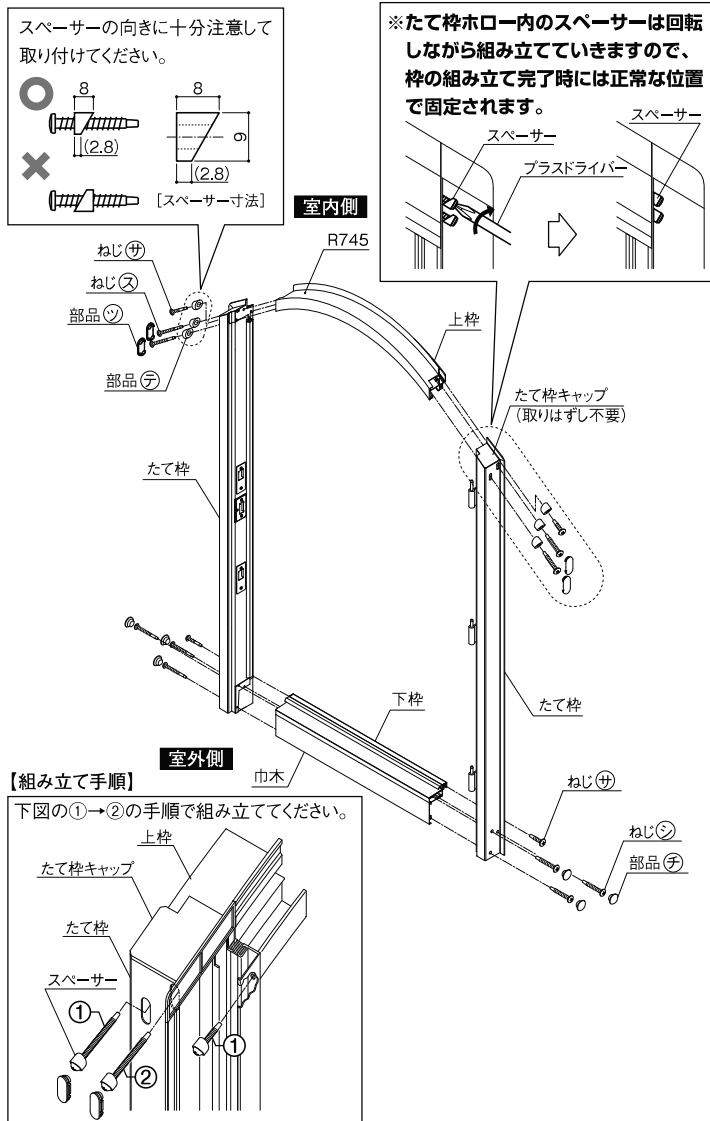
片開き・親子・両開き枠

※ 巾木付枠



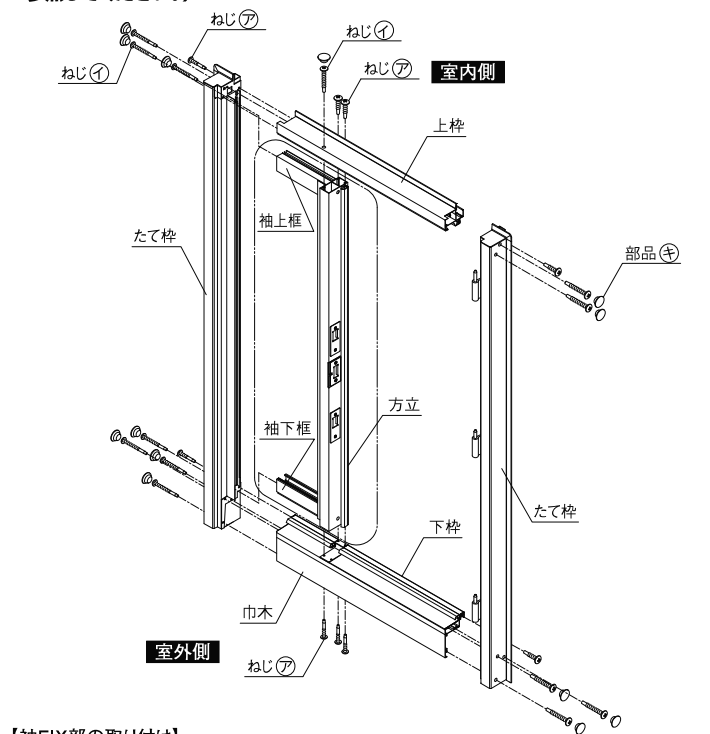
アールドア(片開き枠)

※ 巾木付枠(巾木の取り付けについては、**片開き・親子・両開き枠**【巾木の取り付け】を参照してください。)



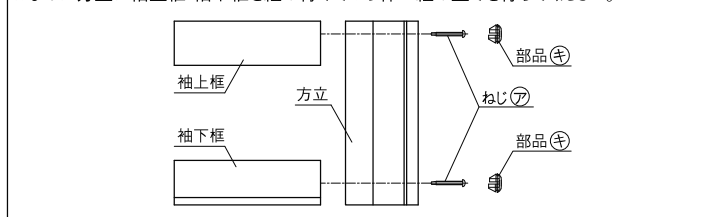
袖FIX片開き・両袖FIX片開き枠

※ 巾木付枠(巾木の取り付けについては、**片開き・親子・両開き枠**【巾木の取り付け】を参照してください。)



【袖FIX部の取り付け】

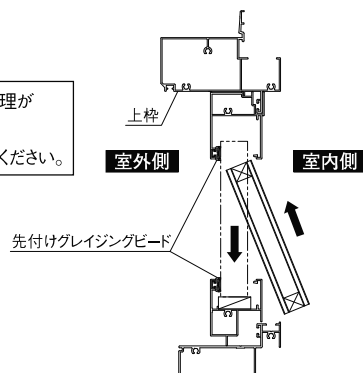
はじめに方立に袖上框・袖下框を組み付けてから枠の組み立てを行ってください。



■ 袖部のガラス入れ

- 図のようにガラスを入れ、押縁(たて)をはめ込み、後付けグレイジングビード(オプション)で固定してください。

ガラス厚により、グレイジングビードの剥離処理が必要となることがあります。グレイジングビード使用区分に従ってご使用ください。



■ グレイジングビード使用区分

- 総ガラス厚によりグレイジングビードの処理が必要となります。下表の区分に従ってご使用ください。
- 後付けグレイジングビードは別途有償品としております。使用するガラス厚に応じて別途手配してください。

【K2・K3・K4仕様】

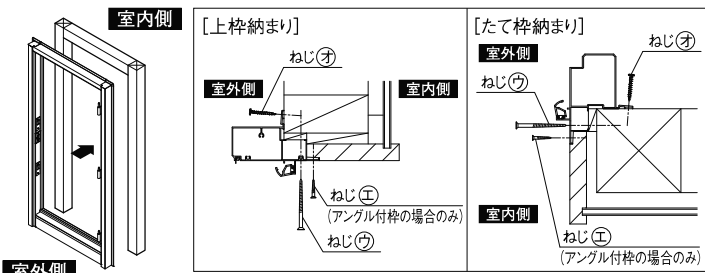
総ガラス厚 (mm)	複層ガラス 該当ガラス例	ガラス 間口	先付けグレイジングビード		後付けグレイジングビード		備考
			品番	※1 処理	品番	※1 処理	
18	3+A12+3	28間口	WB4659	1枚剥離	EWB4862	2枚剥離	● 先付けグレイジングビード (WB4659) 2枚剥離 ● 後付けグレイジングビード (EWB4862) (EWB4863) 2枚剥離 表のグレイジングビード使用区分に従って、斜線部を剥離してください。
19	3+A12+4						
20	3+A12+5 4+A12+4						
21~22	3+A12+6 4+A12+5 (3+0.8+3)+A12+3						
22~23	4+A12+6 5+A12+5						
23~24	(3+0.8+3)+A12+5 (4+0.8+4)+A12+3 5+A12+6						

- ※1 一箇所は、はぎ取り不要を示します。そのままご使用ください。
- ※2 防犯合セガラスは中間膜30ミル(0.8mm)として、表示しています。

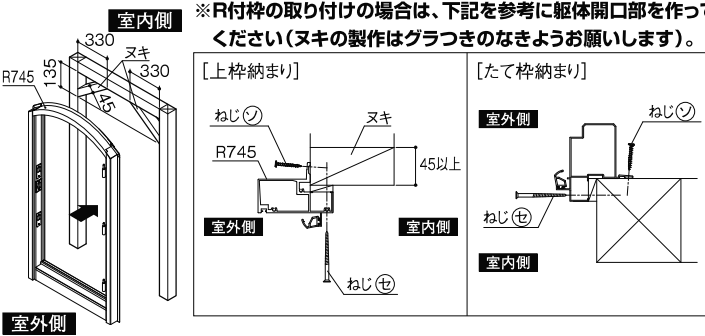
2 枠の取り付け

- 図のように、同梱の木ねじで枠を躯体に取り付けてください。

アールドア以外の場合



アールドアの場合



※R付枠の取り付けの場合は、下記を参考に躯体開口部を作ってください(ヌキの製作はグラツきのなきをお願いします)。

3 ドア本体の建て込み

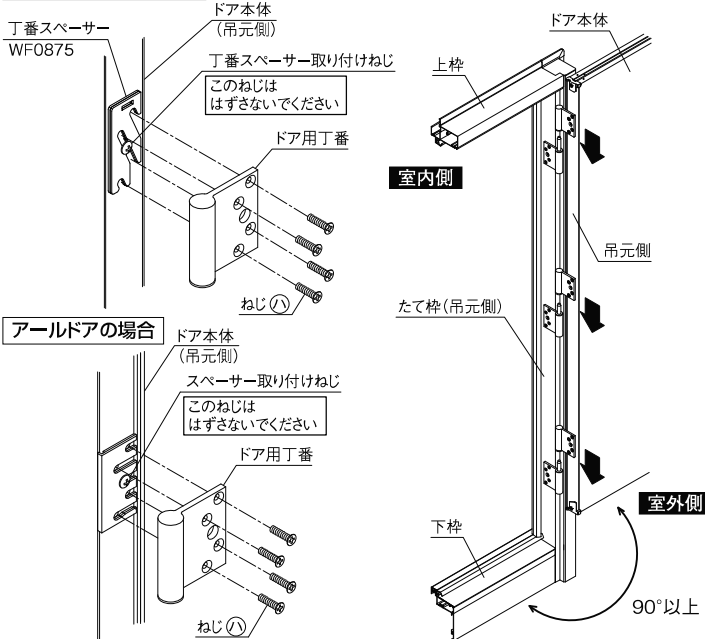
■丁番の取り付け

- 部品箱の丁番をドア本体に取り付けてください。

■ドア本体の建て込み

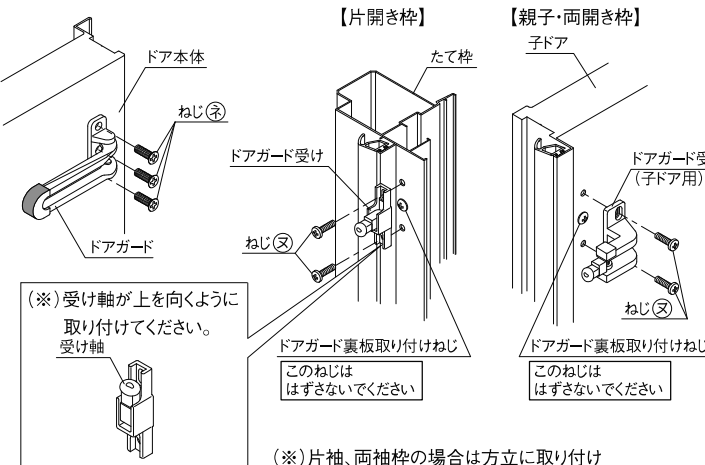
- ドア本体を90°以上開いた状態で丁番軸心を合わせ、落し入れてください。

アールドア以外の場合



4 ドアガードの取り付け

- 図のようにドアガード本体とドアガード受けを取り付けてください。



5 建て付け調整

左右方向の調整

■吊元側にドア本体を寄せる場合

- ①スペーサー取り付けねじおよび丁番取り付けねじ(4本)をゆるめ、丁番スペーサーを引き抜いてください。

注 スペーサー取り付けねじは完全に取りはずさないでください。丁番裏板が脱落し、丁番が取り付けられなくなります。

- ②丁番スペーサーを折り目に沿って切り取ります。

〔調整寸法〕 1枚のみ抜いた場合 1.5mm
2枚とも抜いた場合 3.0mm

- ③丁番スペーサーを元にもどし、スペーサー取り付けねじおよび丁番取り付けねじ(4本)を締め付けてください。

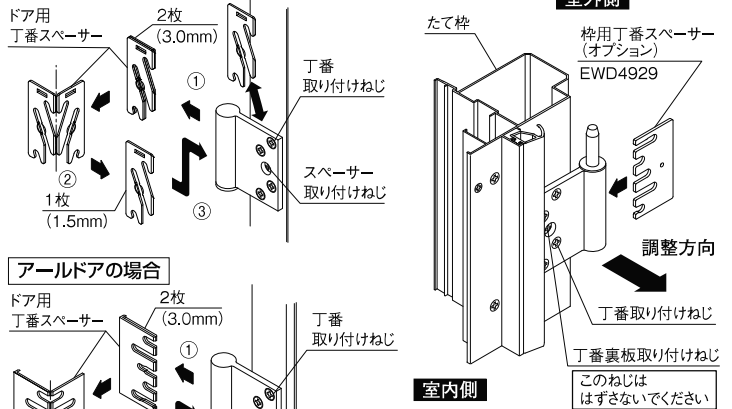
調整方向

■戸先側にドア本体を寄せる場合

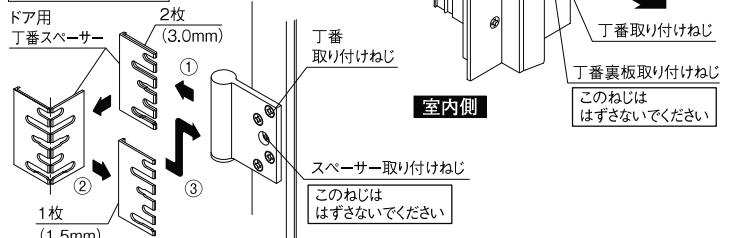
- 枠用丁番スペーサー (EWD4929・オプション) を枠側に挿入して調整してください。

〔調整寸法〕 1枚につき 2mm

アールドア以外の場合

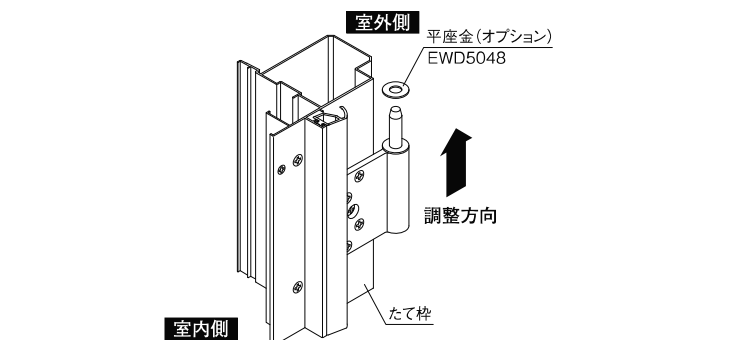


アールドアの場合



上方向の調整

- ドア本体を枠からはずし、丁番軸心に平座金 (EWD5048・オプション) を入れてください。



室内・外方向の調整

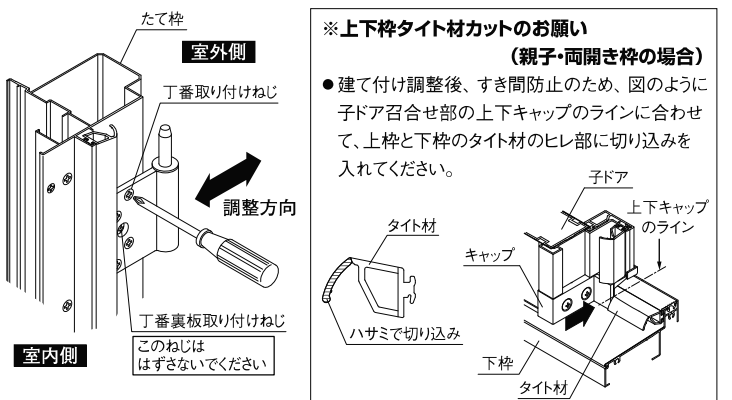
- ①丁番裏板取り付けねじおよび丁番取り付けねじ(4本)をゆるめます。

注 丁番裏板取り付けねじは完全に取りはずさないでください。丁番裏板が脱落し、丁番が取り付けられなくなります。

- ②室内外方向の調整を行ってください。

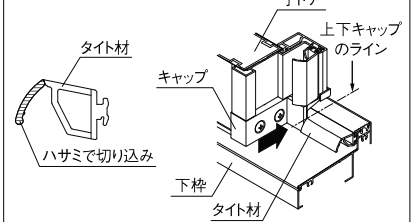
〔調整寸法〕 室外側へ2mm
室内側へ2mm

- ③丁番裏板取り付けねじおよび丁番取り付けねじ(4本)を締め付けてください。



※上下枠タイト材カットのお願い (親子・両開き枠の場合)

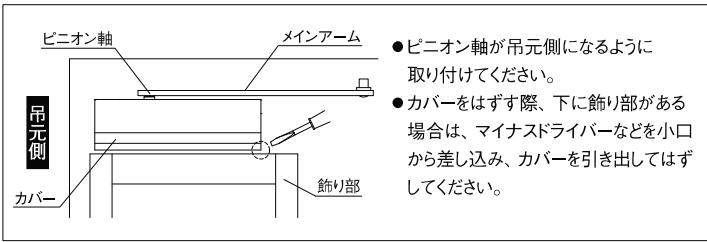
- 建て付け調整後、すき間防止のため、図のように子ドア召合せ部の上下キャップのラインに合わせて、上枠と下枠のタイト材のヒレ部に切り込みを入れてください。



6 ドアクローザの取り付け

● 枠およびドア本体にドアクローザを取り付けてください。

※ ドアクローザに同梱の取り付け説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

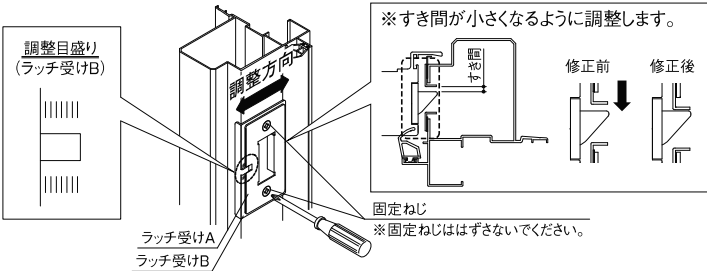


- ピニオン軸が吊元側になるように取り付けてください。
- カバーをはずす際、下に飾り部がある場合は、マイナスドライバーなどを小口から差し込み、カバーを引き出してはずついてください。

7 ラッチ受け・ストライクの調整

■ ラッチ受けの調整

- ① ラッチ受けの固定ねじを2本ともまわしゆるめます。
- ② ラッチ受けAを動かして、目盛りに合わせて調整を行ってください。
※ ラッチ受けBには、1mmきざみの目盛りが刻印されています。
- ③ ラッチ受けの位置を合わせてからねじを締め直します。

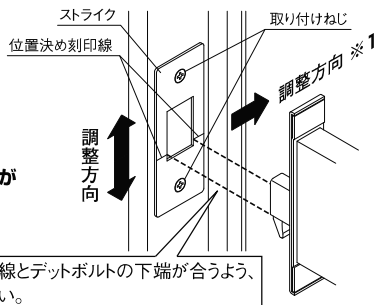


■ ストライクの調整

- ① ストライクの固定ねじを2本ともまわしゆるめます。
- ② ストライクの位置を合わせてからねじを締め直します。

※ 1 ストライクは室外側に寄せた位置が推奨位置となります。

ストライク受けの刻印線とデットボルトの下端が合うよう、上下に調整してください。

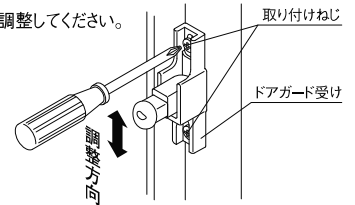


8 ドアガードの調整

● ドアガードがかかりにくい場合は、下記の要領で調整してください。

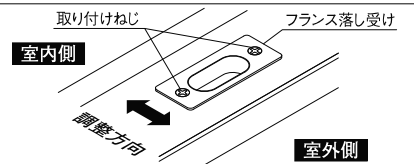
上下方向の調整

- ① ドアガード受けの取り付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。
- ② 調整後、ゆるめたねじを締めてください。
- ③ ドアガードの作動確認を行ってください。



9 フランス落し受けの調整

- 子ドアがガタつく場合は、フランス落し受けの取り付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。

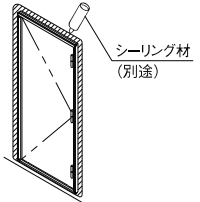


10 シーリング

● 外壁仕上げ後、外壁材との取り合い・納まり部は、全周必ず別途シーリングを行ってください。

※ シーリングは確実に施工してください。施工不良は漏水の原因となり、家屋を傷めるおそれがあります。

- シーリングは、塗布箇所に着しているさび、ほこり、油分、水分などをきれいに除去し、指定箇所すべてに対して確実に行ってください。
- シーリング材を十分に深部まで押し込み、表面をへらなどでなめらかに仕上げてください。



戸当りの施工に関して(別冊)

- 玄関の納まりに合わせて戸当りをお選びください。
- 戸当りは、ドア本体の下端から戸当り先端までの寸法が12~17mmとなるように設置してください。
- 戸当りは、ドア本体の戸先から55~65mmの位置に当るように設置してください。

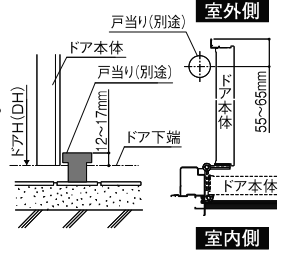
※ 戸当りは正しく設置してください。戸当りが適正に設置されない場合、破損やドア本体表面の凹みが発生するおそれがあります。

※ 衝突による破損を完全に防ぐものではありません。無理な力でドア本体を開閉するとドア本体表面、戸当りの変形、破損の原因となります。

※ 強風時のドア本体の開閉についてのご注意
強風時にドア本体を開けると、風圧により思わぬ力でドア本体が開くことがあります。

勢いよくドア本体が開いて転倒などによるけがやドア本体・枠・外壁などの破損のおそれがあります。十分にご注意ください。

枠・外壁などの破損を防ぐためには、戸当りを正しく取り付けることが有効です。



納まり参考図

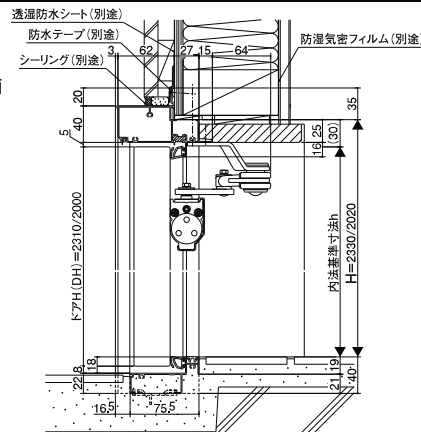
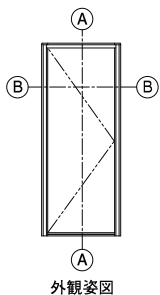
尺度：1/6

例)

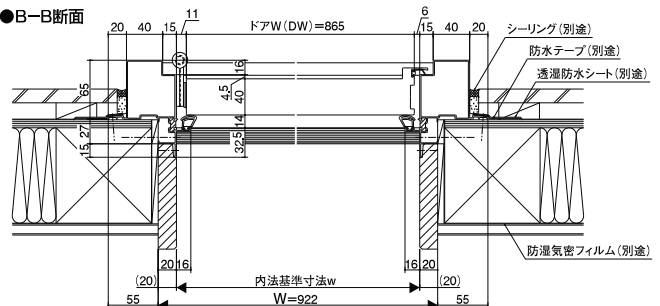
■ 片開きドア [ドライ枠]

※ 本図はアングル付枠を示します。

● A-A断面

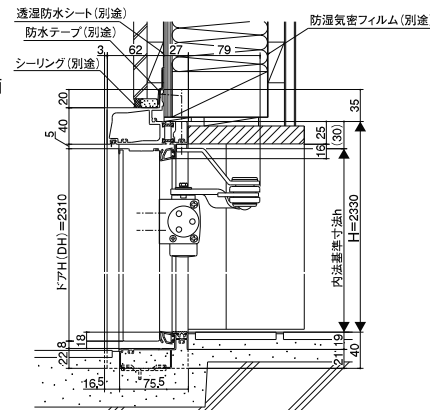
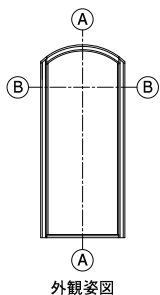


● B-B断面

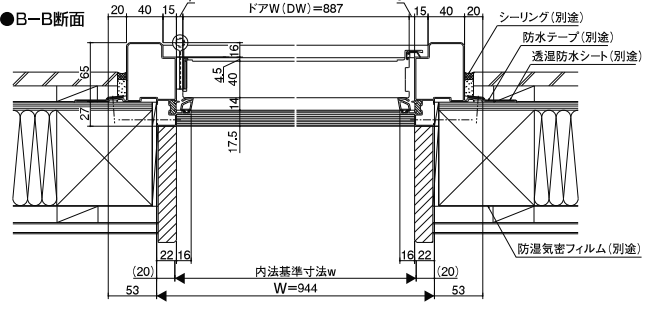


■ アールドア (片開き枠) [ドライ枠]

● A-A断面



● B-B断面



第1版 2024年3月発行